



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社シーボン 上場取引所 東
 コード番号 4926 URL <https://www.cbon.co.jp/company/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 執行役員 （氏名）崎山 一弘
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員 管理本部責任者 （氏名）松本 裕右 TEL 03-3404-7501
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	2,229	1.6	△6	—	△1	—	△19	—
2026年3月期第1四半期	2,193	8.8	30	—	35	—	11	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △29百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 10百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△4.59	—
2026年3月期第1四半期	2.67	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	8,565	5,617	65.5
2026年3月期	8,601	5,688	66.1

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 5,614百万円 2026年3月期 5,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	4,775	3.5	166	32.6	174	20.4	112	△2.6	26.36
通期	9,527	2.8	308	21.7	325	15.5	200	△6.3	46.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	4,281,200株	2026年3月期	4,281,200株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	120,690株	2026年3月期	120,690株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	4,160,510株	2026年3月期1Q	4,280,511株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本国内の経済環境は、雇用・所得環境の改善や賃上げの進展を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、継続的な物価上昇に伴う生活防衛意識の高まりから、個人消費においては二極化の傾向が見られます。また、為替相場の変動や国際情勢の緊迫化による原材料・エネルギー価格の高止まりなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社グループは、当期からスタートした新たな中期経営計画（2027年3月期～2029年3月期）の初年度として、「主体性あふれる組織づくり」「顧客体験価値の深化」「生産体制と品質管理体制の向上」「店舗オペレーションの効率化・接客効率の改善」「シナジー効果による新たな店舗形態の出店」という重点課題を掲げ、持続的な企業価値の向上を目指しております。

「主体性あふれる組織づくり」「顧客体験価値の深化」の施策として、人材育成の効率化と質の向上を目的に、前連結会計年度末に導入したラーニング・マネジメント・システム（LMS）を最大限に活用し、オンライン研修の定着化を推進いたしました。さらに、役職者会議等の機会を通じて外部講師を招聘した高度な講習会を継続的に実施し、店舗マネジメントおよびカウンセリング力の底上げを図りました。加えて、市場におけるブランド認知の拡大を目指し、「大人のおしゃれ手帖」や「美的」といった有力雑誌とのタイアップ企画を積極的に展開し、新規層へのアプローチを強化いたしました。これらの成果として、新規顧客の購入単価は前年同期比110.2%となるなど、顧客単価の維持や向上に繋がっております。

「店舗オペレーションの効率化・接客効率の改善」の施策として、従来の120分トライアルプランに加え、顧客の利便性向上とタイムパフォーマンスへのニーズに応えるべく、2026年4月より60分で完結する「60プレトライアル」を全店で導入いたしました。施術時間の短縮により、店舗オペレーションの効率化とリソースの最適配置を推進しております。

高価格帯である主力製品とのトライアルプランの価格ギャップを埋め、サロンにおける接客機会の質的向上を図るため、トライアルプランの価格改定（1,500円から3,500円への変更）を実施いたしました。当該価格変更に伴い、新規顧客の来店数は前年同期比98.9%と微減したものの、継続が見込める優良な顧客層の集客に繋がっております。これにより、既存顧客の継続数※は前年同期比102.2%と前年を上回る推移を見せており、質を重視した顧客基盤の構築が順調に進んでおります。

これらの施策の結果、直営店舗における売上高は2,080,042千円（前年同期比1.0%増）となりました。

「シナジー効果による新たな店舗形態の出店」の施策として、2026年5月1日にトリートメント専門店である「イマトリ大森店」にヘアサロンを併設し、「シーボンヘアサロン ニーフ大森店」としてオープンいたしました。イマトリの手軽さとニーフの優れた技術力を融合させたサロンの展開により、既存の店舗資産およびリソースを最大限に活用しつつ、相互送客による顧客単価の向上と新たな顧客層の開拓を推進してまいります。

販売費及び一般管理費に関しましては、直営店舗の採用数増や売上高向上に伴う賞与の増加の影響による人件費の増加に加えて、ブランディング等の認知度拡大施策による広告宣伝費の増加によって販売費及び一般管理費の水増し傾向にあります。引き続き、継続的なコストの適正化および利益率の向上を推進してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は2,229,819千円（前年同期比1.6%増）となりました。利益面におきましては、営業損失は6,299千円（前年同期は営業利益30,836千円）となり、経常損失は1,319千円（前年同期は経常利益35,335千円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、19,077千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益11,444千円）となりました。

※継続数

：1ヵ月に1回以上来店のあるお客様ののべ人数

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は4,729,750千円となり、前連結会計年度末に比べ73,543千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比249,697千円減）があった一方で、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末比123,311千円増）、商品及び製品の増加（前連結会計年度末比14,467千円増）、原材料及び貯蔵品の増加（前連結会計年度末比39,232千円増）によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は3,835,274千円となり、前連結会計年度末に比べ36,950千円増加いたしました。その主な要因は、その他有形固定資産の増加（前連結会計年度末比65,507千円増）があった一方で、投資その他の資産の減少（前連結会計年度末比24,589千円減）、建物及び構築物の減少（前連結会計年度末比2,446千円減）、無形固定資産の減少（前連結会計年度末比1,520千円減）によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は2,604,675千円となり、前連結会計年度末に比べ33,700千円増加いたしました。その主な要因は、買掛金の増加（前連結会計年度末比49,154千円増）、契約負債の増加（前連結会計年度末比67,121千円増）があった一方で、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比50,814千円減）、その他流動負債の減少（前連結会計年度末比29,189千円減）によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は342,874千円となり、前連結会計年度末に比べ389千円増加いたしました。その主な要因は、資産除去債務の増加（前連結会計年度末比365千円増）、その他固定負債の増加（前連結会計年度末比24千円増）によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は5,617,476千円となり、前連結会計年度末に比べ70,683千円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比60,682千円減）によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.5%（前連結会計年度末は66.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月13日付「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,016,160	2,766,462
受取手形及び売掛金	807,435	930,747
商品及び製品	359,907	374,374
仕掛品	65,340	69,866
原材料及び貯蔵品	372,837	412,069
その他	181,895	176,420
貸倒引当金	△281	△188
流動資産合計	4,803,294	4,729,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,162,464	2,160,017
土地	244,827	244,827
その他（純額）	159,444	224,951
有形固定資産合計	2,566,736	2,629,796
無形固定資産	24,258	22,737
投資その他の資産		
その他	1,230,329	1,205,740
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,207,329	1,182,740
固定資産合計	3,798,323	3,835,274
資産合計	8,601,618	8,565,025
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,679	126,834
未払法人税等	57,958	7,144
契約負債	1,415,929	1,483,051
賞与引当金	596	—
役員賞与引当金	1,988	—
資産除去債務	10,414	10,426
その他	1,006,407	977,218
流動負債合計	2,570,974	2,604,675
固定負債		
資産除去債務	301,013	301,378
その他	41,471	41,495
固定負債合計	342,484	342,874
負債合計	2,913,459	2,947,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	483,930	483,930
資本剰余金	367,830	367,830
利益剰余金	4,814,714	4,754,031
自己株式	△156,062	△156,062
株主資本合計	5,510,413	5,449,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,416	152,597
為替換算調整勘定	10,884	11,702
その他の包括利益累計額合計	174,300	164,300
新株予約権	3,445	3,445
純資産合計	5,688,159	5,617,476
負債純資産合計	8,601,618	8,565,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,193,778	2,229,819
売上原価	533,143	541,142
売上総利益	1,660,634	1,688,676
販売費及び一般管理費	1,629,797	1,694,976
営業利益又は営業損失(△)	30,836	△6,299
営業外収益		
受取利息	170	0
受取配当金	2,671	2,927
受取家賃	1,551	1,551
その他	1,514	697
営業外収益合計	5,908	5,177
営業外費用		
支払利息	164	2
支払手数料	1,239	—
その他	5	195
営業外費用合計	1,409	197
経常利益又は経常損失(△)	35,335	△1,319
特別損失		
固定資産除却損	160	—
特別損失合計	160	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	35,175	△1,319
法人税、住民税及び事業税	14,213	4,904
法人税等調整額	9,518	12,853
法人税等合計	23,731	17,758
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,444	△19,077
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,444	△19,077

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	11,444	△19,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	530	△10,818
為替換算調整勘定	△1,887	818
その他の包括利益合計	△1,356	△10,000
四半期包括利益	10,087	△29,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,087	△29,078

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、化粧品及び医薬部外品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	47,763千円	41,768千円